

フィールドテスト班 進捗報告

向野 雅彦

1. ICD-11 V 章の Generic functioning domains 採点リファレンスガイドの第 1 版作成および検者間信頼性検討

2020 年 1 月の Generic functioning domains の項目に対するコンセンサスカンファレンス後の簡潔で直感的な説明文および英語版作成の後、以前に報告された ICF 一般セットに対する採点リファレンスガイド作成のプロセス（添付資料 1）に沿い、採点リファレンスガイドの素案の作成が行われた。フィールドテスト班において素案のレビューが行われ、活発な議論を経てリファレンスガイドの第 1 版が作成された（添付資料 2）。現在、検者間信頼性の検討を実施中である。

2. WHO-DAS 関連項目および MDS 関連項目の説明文翻訳検討

ICD-11V 章の項目のうち、WHO-DAS 関連項目および MDS 関連項目については ICD-11 browser に項目ごとの説明文が掲載されている。この説明文の翻訳素案を作成し、現在フィールドテスト班で議論し、最終案を作成中である。

ICD-11V 章リファレンスガイド作成プロセス

2017 年に厚労科研研究班（才藤班）とドイツ WHO 協力センターの ICF research branch と共同でリファレンスガイド作成プロセスに従い実施。

作成手順は以下の通り。

- 1) 9 名の患者（急性期 3 名、回復期 3 名、慢性期 3 名）を 3 名の評価者（今回は医師 1 名、理学療法士 1 名、作業療法士 1 名）が ICF を使って評価を実施する。
- 2) 採点結果を見ながら、面接者が評価者一人ずつにそれぞれの項目について以下の 3 点を質問する。
 - a) 何に着目してその点をつけましたか？
 - b) なぜその点をつけましたか？
 - c) 今回の点数より高い点数や低い点数をつけなかったのはなぜですか？また高い点と低い点を付ける場合の具体例を挙げてください。
- 3) 面接結果を元に、面接者と評価者全員でそれぞれの点数をどのように区別すべきかを議論する。
- 4) 議論の結果を元に草案を作成する。
- 5) 草案をフィールドテスト班メンバーで議論し、その結果に基づいて修正を行う。
- 6) 検者間信頼性の検証を実施する。 （現在はこの段階）
- 7) 信頼性が不十分であれば、再度修正し、十分な信頼性が得られた段階で終了とする。

以上

ICD-11 V章リファレンスガイド第 1 版

*このリファレンスガイドは、ICF原典に記載されている評価点の説明を元に、おおまかな目安として作成したものです。

0: 問題なし 0-4%

1: 軽度の問題 5-24%

2: 中等度の問題 25-49%

3: 重度の問題 50-95%

4: 完全な問題 96-100%

ICD-11V章 追加分 採点ツール

ICFコード	項目	説明文	採点の目安
b140	VA00 注意機能	日常に支障なく注意を集中する機能	*一つの課題への注意の集中、複数の対象への注意の分散といった、注意機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。 ** 機能そのものを採点対象とし、派生する活動や参加の問題はここでは採点対象としない。 0 問題なし：注意機能における問題がない 1 軽度の問題：注意機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である 2 中等度の問題：1の範囲を超える注意機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる 3 重度の問題：注意機能において重大な問題（50%以上）がある 4 完全な問題：例えば全く一つの課題に集中できない、別の対象に注意が向けられないといった注意機能における完全な問題がある
b144	VA01 記憶機能	記憶し、必要に応じて思い出す機能	*数秒から数時間の短期の記憶ができないことや過去の出来事の想起ができないことなど、記憶機能全般における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。 ** 機能そのものを採点対象とし、派生する活動や参加の問題はここでは採点対象としない。 0 問題なし：記憶機能における問題がない 1 軽度の問題：記憶機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である 2 中等度の問題：1の範囲を超える記憶機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる 3 重度の問題：記憶機能において、重大な問題（50%以上）がある 4 完全な問題：例えば全く記憶ができない、過去の出来事を全く思い出せないといった記憶機能における完全な問題がある
d175	VA02 問題解決	日常生活上の問題を解決する	0 問題なし：支障なく自分で問題解決を行っている 1 軽度の問題：自分で行っているが、解決の範囲が限定される 2 中等度の問題：一部（50%未満）を他者のサポート下で行っている、もしくは一部を行えていない 3 重度の問題：大部分（50%以上）をサポート下で行っている、もしくは大部分を行えていない 4 完全な問題：完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d130-d159	VA03 基礎的学習	読み書きや計算、日常生活に必要な技能を学習し、習得する	0 問題なし：問題なく基礎的学習を行っている 1 軽度の問題：基礎的学習は可能だが、促しや準備が必要である 2 中等度の問題：学習にいくらかのサポート（50%未満）を要する、もしくは学習が一部（50%未満）において不十分となる 3 重度の問題：学習にかなりのサポート（50%以上）を要するもしくは学習が大部分（50%以上）において不十分となる 4 完全な問題：学習が全く行えていない
d310	VA04 話し言葉の理解	日常における話し言葉の意味を理解する	0 問題なし：問題なく話し言葉を理解できている 1 軽度の問題：話し言葉の理解に制限があるが、自分でサポート（言い換えなど）を依頼することで解決できる/ 補助具を利用している 2 中等度の問題：話し言葉の理解に制限があり、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（ジェスチャーや言い換えなど）が必要である 3 重度の問題：話し言葉の理解に制限があり、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（ジェスチャーや言い換えなど）が必要である 4 完全な問題：話し言葉が全く理解できていない
d350	VA05 会話	状況に応じて会話をする	0 問題なし：問題なく会話を行っている 1 軽度の問題：会話を行っているが、軽微な問題（内容の不適切さ、語彙の不足など）が存在する 2 中等度の問題：会話を行っているが、一部（50%未満）に他者の配慮に基づくサポート（要約、推測、補足など）が必要である 3 重度の問題：会話を行っているが、大部分（50%以上）に他者の配慮に基づくサポート（要約、推測、補足など）が必要である 4 完全な問題：全く会話が行えない、会話が成立しない
d4154	VA10 立位の保持	立位の姿勢を保持する	0 問題なし：問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：自分で行っているが困難を伴う、装具や杖、手すりを使用する、あるいは他者の見守り下で行っている 2 中等度の問題：一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：大部分（50%以上）をサポート下で行っている 4 完全な問題：完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d410	VA11 姿勢の変換・立つこと	立ち上がること、立位から他の姿勢（座位、臥位等）になること	0 問題なし：問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：自分で行っているが何らかの困難がある、装具や杖、手すりを使用する、あるいは他者の見守り下で行っている 2 中等度の問題：一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：大部分（50%以上）をサポート下で行っている 4 完全な問題：完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d4600/d455	VA12 自宅内の移動	自宅内を歩行または移動する	0 問題なし：問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：自分で行っているが困難を伴う、装具や杖、手すり、歩行器、車椅子などを使用する、あるいは他者の見守り下で行っている 2 中等度の問題：一部（50%未満）サポート下で行っている 3 重度の問題：大部分（50%以上）をサポート下で行っている 4 完全な問題：完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
d730	VA30 よく知らない人との関係	物を買う、道を尋ねる等、必要に応じて、よく知らない人に対応する	0 問題なし：知らない人への対応を必要に応じて問題なく自分で行っている 1 軽度の問題：知らない人への対応を必要に応じて行うが、自発性に欠けもしくは消極的である 2 中等度の問題：知らない人への対応を必要に応じて行うことに時に（50%未満）支障があり、サポートや相手の配慮が必要になることがある 3 重度の問題：知らない人への対応を必要に応じて行うことに頻繁に（50%以上）支障があり、サポートや相手の配慮が必要になることがある 4 完全な問題：完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない

d940	VA52 人権	人としての権利を享受している	0 問題なし：人として生活するための選択や決定、その管理を問題なく自分でやっている 1 軽度の問題：人として生活するための選択や決定、その管理を行っているが、いくらか困難を伴う 2 中等度の問題：人として生活するための自己選択や決定、その管理に一部（50%未満）支障がある 3 重度の問題：人として生活するための自己選択や決定、その管理に重大な（50%以上）支障がある 4 完全な問題：人として生活するための自己選択や決定、その管理を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない
b210-b229	VA90 視覚および関連機能	日常に支障なく見る目の機能	*視力および視野や眼球運動による視覚の制限など、視覚に関わる機能全般における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。 ** 機能そのものを採点対象とし、派生する活動や参加の問題はここでは採点対象としない。 0 問題なし：視覚に関わる機能における問題がない 1 軽度の問題：視覚に関わる機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である 2 中等度の問題：1の範囲を超える視覚に関わる機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる 3 重度の問題：視覚に関わる機能において、重大な問題（50%以上）がある 4 完全な問題：失明のように視覚に関わる機能において完全な問題がある
b230-b249	VA91 聴覚と前庭の機能	日常に支障なく聞く機能/平衡に関する感覚	*難聴など、聴覚機能における程度と頻度を考慮に入れて採点する。 ** 機能そのものを採点対象とし、派生する活動や参加の問題はここでは採点対象としない。 0 問題なし：聴覚機能における問題がない 1 軽度の問題：聴覚機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である 2 中等度の問題：1の範囲を超える聴覚機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる 3 重度の問題：聴覚機能において、重大な問題（50%以上）がある 4 完全な問題：聾のように聴覚に関わる機能において完全な問題がある
		日常に支障なく聞く機能/平衡に関する感覚	*平衡感覚の障害、めまいなど、前庭機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。 ** 機能そのものを採点対象とし、派生する活動や参加の問題はここでは採点対象としない。 0 問題なし：前庭機能における問題がない 1 軽度の問題：前庭機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である 2 中等度の問題：1の範囲を超える前庭機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる 3 重度の問題：前庭機能において、重大な問題（50%以上）がある 4 完全な問題：平衡を完全に失った状態のように前庭機能において完全な問題がある、
b310-b399	VB60 音声と発話に関する機能	日常に支障なく音声や言語を発する機能	*発声の障害、声量の低下や発話明瞭度の低下など、音声と発話に関する機能全般における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。 ** 機能そのものを採点対象とし、派生する活動や参加の問題はここでは採点対象としない。 0 問題なし：音声と発話に関する機能における問題がない 1 軽度の問題：音声と発話に関する機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である 2 中等度の問題：1の範囲を超える音声と発話に関する機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる 3 重度の問題：音声と発話に関する機能において、重大な問題（50%以上）がある 4 完全な問題：例えば全く発声ができない、もしくは発話がまったく不明瞭であるといった音声と発話に関する機能における完全な問題がある
b510-b539	VB80 消化器系に関連する機能	摂食、消化・吸収し、排便する機能	*咀嚼機能の低下・嚥下機能の低下など、摂食機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。 ** 機能そのものを採点対象とし、派生する活動や参加の問題はここでは採点対象としない。 0 問題なし：摂食機能における問題がない 1 軽度の問題：摂食機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である 2 中等度の問題：1の範囲を超える摂食機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる 3 重度の問題：摂食機能において、重大な問題（50%以上）がある 4 完全な問題：例えば全く摂食ができない、もしくはあらゆる条件下で誤嚥する状態であるといった摂食機能における完全な問題がある
		摂食、消化・吸収し、排便する機能	*嘔吐、便秘、下痢など、消化・吸収および排便に関する機能における問題の程度と頻度を考慮に入れて採点する。 ** 機能そのものを採点対象とし、派生する活動や参加の問題はここでは採点対象としない。 0 問題なし：消化・吸収および排便に関する機能における問題がない 1 軽度の問題：消化・吸収および排便に関する機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である 2 中等度の問題：1の範囲を超える消化・吸収および排便に関する機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる 3 重度の問題：消化・吸収および排便に関する機能において、重大な問題（50%以上）がある 4 完全な問題：例えばまったく排便がないもしくは全て嘔吐するといった消化・吸収および排便に関する機能における完全な問題がある
b8	VB40.5 皮膚および関連する構造の機能	皮膚の保護・修復に関する機能/毛や爪の機能	*褥瘡や熱傷などによる皮膚の保護機能、修復機能の低下など、皮膚および関連する構造における問題の範囲と程度と頻度を考慮に入れて採点する。 ** 機能そのものを採点対象とし、派生する活動や参加の問題はここでは採点対象としない。 0 問題なし：皮膚および関連する構造の機能における問題がない 1 軽度の問題：皮膚および関連する構造の機能における問題が存在するが、日常の活動に支障がない程度である 2 中等度の問題：1の範囲を超える皮膚および関連する構造の機能の問題が存在するが、部分的な問題（50%未満）にとどまる 3 重度の問題：皮膚および関連する構造の機能において、重大な問題（50%以上）がある 5 完全な問題：例えば、全身に重度の熱傷など皮下組織を含む皮膚の保護修復機能の問題を生じるような皮膚および関連する構造の機能における完全な問題がある
d430-449	VC21 物の運搬・移動・操作	手や足を使って物の移動や操作を行う	0 問題なし：問題なく自分でやっていることなど 1 軽度の問題：自分でやっているが困難を伴う、装具や自助具等を使用する、あるいは他者の見守り下で行っていることなど 2 中等度の問題：一部（50%未満）サポート下で行っていることなど 3 重度の問題：大部分（50%以上）をサポート下で行っていることなど 4 完全な問題：完全なサポート下で行っていること、もしくは全く行えていないことなど
d630	VC40 調理	調理を計画、準備、実行する	0 問題なし：問題なく自分でやっている 1 軽度の問題：自分でやっているが、何らかの困難がある、補助具・自助具等を使用する 2 中等度の問題：一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している 3 重度の問題：大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している 4 完全な問題：完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない